

平成22年度 安房教育研究所役員一覧表

役 職	氏 名	所 属
顧 問	川 原 裕 二	千葉県教育庁南房総教育事務所 所長
運 営 委 員 長	溝 江 晃	郡市小学校長会 会長 北条小学校 校長
副 運 営 委 員 長	石 井 正 幸	千教組安房支部 支部長 館山第二中学校 教諭
運 営 委 員	大和地紀昭	地教連 会長 館山市教育委員会 教育委員長
	三幣貞夫	地教委 南房総市教育委員会 教育長
	溝江 晃	郡市小学校長会 会長 北条小学校 校長
	下妻洋也	郡市中学校長会 会長 館山第三中学校 校長
	佐藤光一	千教研安房支会 会長 田原小学校 校長
	田村賢一	教育会 鋸南代表 勝山小学校 校長
	早川紀子	教育会 館山代表 豊房小学校 校長
	山口正義	同 上 館山第二中学校 校長
	八巻一哉	教育会 南房総代表 富浦小学校 校長
	楢本清	同 上 丸山中学校 校長
	青木和詳	同 上 三芳小学校 校長
	西宮將一	教育会 長狭代表 太海小学校 校長
	川名 稔	同 上 安房東中学校 校長
	小山治賢	安房地方小中教頭会 会 長 神戸小学校 教頭
	本吉淳二	安房地方小中教頭会 副会長 東条小学校 教頭
	石井正幸	千教組安房支部 支 部 長 館山第二中学校 教諭
	義道俊文	千教組安房支部 副支部長 丸小 学 校 教諭
飯塚紀子	千教組安房支部 教文部長 丸山中学校 教諭	
会 計 監 査	小沢誠治	郡市校長会 代表 健田小学校 校長
	金房 努	安房地方小中教頭会 代表 館山第一中学校 教頭
	高梨美佐子	安房支部 代表 富浦小学校 教諭
所 長	石井昭博	東条小学校 校長
主 任 主 事	遠藤 忠	館山第三中学校 教諭
会 計 主 事	神作正孝	千教組安房支部 書記長 江見中学校 教諭
庶 務 主 事	渡邊毅之	千教組安房支部 書記次長 白浜小学校 教諭
書 記	鈴木浩美	安房教育会館 書記

千葉県安房教育研究所 研究テーマ一覧表

*第21集1971(46)年度より、調査研究部/教育研修部の2部制となる

紀要番号	研究年度	研 究 テ ー マ
1	1955	*安房地方における教育の現況
2	1956	*地域条件と児童・生徒の実態に即した学習指導の研究
3	1957	*安房地方に於ける道徳教育の実態と問題点 －児童・生徒の道徳意識と問題点－ *安房地方に於ける道徳教育の実態と問題点 －教師の道徳観と道徳教育上の問題点－
4	1958	*安房地方に於ける道徳教育の実態と問題点 －道徳の時間の実態と問題点－
5	1959	*安房地方における科学技術教育の実態と問題点 －科学技術教育を身につけさせる理科指導－
6	1960	*科学技術を身につけさせる理科指導－仮説を導くための予備的実験－
7	1961	*思考過程に即した学習指導の研究－説明的文章の読解指導を通して－
8	1962	*思考過程に即した学習指導の研究－説明文読解指導を通して－
9		*問題の子の診断と治療
10	1963	*生活指導の資料 ー生徒児童編ー
11	1964	*生活指導の資料 ー父兄教師編ー
12		*問題児の診断と治療(症例集Ⅱ)
13	1965	*観光地の子どもに与える影響について(第1集)
14	1966	*観光地の子どもに与える影響について(第2集) *安房郡市に於ける運動会白書
15	1967	*出張とその対策 *特殊学級の現状
16	1968	*安房地方に於ける学校の施設設備の実態について
17	1969	*学校における施設設備の効果的な管理・活用について
18		*家庭教育の役割と学校教育 ー家庭学習の実態とその問題点ー
19		*安房における教育論の探究
20	1970	*家庭教育の役割と学校教育 *安房教育論の探究 *ー教育用語ー
21	1971	*家庭教育の役割と学校教育 ー家庭の教育機能と養育態度ー *安房教育論の探究 ー教育工学ー
22	1972	*安房地方における教科指導の評価 ー教師と児童生徒の実態と問題点ー *安房地方における教育現代化の動向をさぐる
23	1973	*安房地方における教科指導の評価 ー実態と問題点(その2)ー *変貌する学校と教師
24	1974	*安房地方における教科指導の評価 ー実態と問題点(その3)ー *人間性回復の教育 ー望ましい学習指導を求めてー
25	1975	*安房地方における特別活動の現状をさぐる *ゆとりある授業の探究
26	1976	*特別活動の問題点をさぐる *個性・能力に応じた教育の探求
27	1977	*豊かな教育をめざしてー安房における特別活動の問題点とその解明ー *基礎的・基本的事項とその指導
28	1978	*望ましい習慣形成をめざしてー基本的な生活習慣に関する意識と実態 *新しい学力観に立つ授業の創造

紀要番号	研究年度	研 究 テ ー マ
29	1979	*望ましい習慣形成をめざして－基本的な習慣形成に関する問題点をさぐる－ *生き生きとした学校生活の実現－学校裁量時間とその活用－
30	1980	*新教育課程の運用に関する研究－学校裁量活動時間の運用の実態－ *学習意欲の喚起とその必要性
31	1981	*新教育課程の運用に関する研究－学校裁量活動時間の運用の実態（小学校）－ *集団の中で個の学習の成立をめざして
32	1982	*新教育課程の運用に関する研究 －安房地方における日課・時程表の運用の成果と問題点について－ *教科指導における新しい評価のとらえ方
33	1983	*新教育課程の運用に関する研究 －安房地方における日課・時程表の運用の成果と問題点について（Ⅱ）－ *教科指導における新しい評価の実践－指導と評価の一本化をめざして－
34	1984	*学ぶことの楽しさを体得できる授業の成立を求めて －安房子どものかかえる問題をさぐる－ *自己教育力を高める指導－学習意欲と学習技能を育てる指導－
35	1985	*学ぶことの楽しさを体得できる授業の成立を求めて －やる気をおこさせる教師の役割と現状－ *自己教育力を高める指導－学習意欲を質的・層的に見つめて－
36	1986	*学ぶことの楽しさを体感できる充実した学校の成立を求めて －子ども・保護者・教師のとらえた現状と問題点－ *個性重視の教育－教科指導の中で－
37	1987	*安房の子どもの遊びの現状と問題点をさぐる *個性重視の教育－質的個人差を生かす学習指導－
38	1988	*安房における親子ふれあいの現状と問題点 *魅力ある授業づくりを目指して
39	1989 平1	*安房における子どもどうしのふれあいの現状と問題点 *魅力ある授業づくりを目指して
40	1990 平2	*子どもと教師のふれあいの現状と問題点 *豊かな心を持った子どもの育成
41	1991 平3	*安房における学校外での子どもの様子の現状と問題点 －特に地域とのふれあいに視点をあてて－ *豊かな心をもった子どもの育成－学校における心の教育の一考察－
42	1992 平4	*学校週5日制に対応する学校教育のあり方 *たくましく生きる力の育成－学校教育における指導のあり方の一考察－
43	1993 平5	*学校週5日制に対応する学校教育のあり方－子どもは学校に何を望んでいるか－ *たくましく生きる力の育成－学校教育における指導のあり方の一考察－
44	1994 平6	*学校週5日制に対応する学校教育のあり方－今求められる教師像－ *安房地方における生涯学習のあり方を求めて－学校教育の役割の一考察－
45	1995 平7	*あなたはどんな教師でありたいですか－学校週5日制をむかえて－ *安房地方における生涯学習のあり方を求めて－学校教育の役割の一考察－
46	1996 平8	*魅力ある教師になりたいあなたへ －子どもの願いに応える教師として、自分をどう成長させていますか－ *「生きる力」を育む新学校像－ゆとりを生む教育課程のスリム化－

紀要番号	研究年度	研 究 テ ー マ
47	1997 平9	*「心の居場所」ありますか あなたの学級の子どもたち —どの子ども存在感・充実感をもてる学校・学級を目指して— *「生きる力」を育む学校を目指して —基礎・基本の充実と総合学習を通して—
48	1998 平10	*目の前の子ども 見えていますか?—安房の子どもたちの実態— *豊かな表現力をもった子どもの育成—言語による表現を中心にして—
49	1999 平11	*目の前の子ども 見えていますか?—安房の子ども達の規範意識— *自ら学ぶ子どもを育てる(その1)—課題設定までの教師の支援— *研究所ホームページの開設を目指して
50	2000 平12	*子ども達の規範意識の形成要因を探る —安房の子ども達のよりよい規範意識の形成に向けて— *自ら学ぶ子どもを育てる(その2)—体験を生かす支援のあり方— *安房らしいみんなが見たくなるようなHP作り
51	2001 平13	*学校と家庭・地域の連携を探る —これからの学校教育のあり方を求めて— *自ら学ぶ子どもを育てる(その3)—一人一人が生きる自己評価のあり方— *安房らしい、みんなが見たくなるようなホームページづくり
52	2002 平14	*自分のしたいこと 見つけられていますか? —年間165日の休日を持つ安房の子どもたちの実態からの考察— *確かな学力をつける学習指導のあり方 —評価を生かす指導の工夫— *広報活動活性化のためのWebページの充実
53	2003 平15	*したいことを持てる子にどう育てていきますか? —安房の子どもと社会教育のかかわり— *確かな学力をつける学習指導のあり方 —「書くこと」の領域の指導に活かす評価の工夫について— *広報活動活性化のためのホームページの充実
54	2004 平16	*育てていますか、子どもの心 —安房の子どもの心の成長と生活習慣や人間関係のあり方の考察— *「伝え合う力」をつける学習指導のあり方 —聞く力・話す力を高める指導の工夫を通して— *有効活用できるWebページの作成と学校Webページ作成及び公開のためのガイドライン策定
55	2005 平17	*輝いていますか、子どもの瞳 —意欲のある子どもを育てるために— *「伝え合う力」をつける学習指導のあり方 —互いの立場や考えを尊重しながら対話しようとする態度を育てる指導の工夫— *有効活用できるWebページの作成
56	2006 平18	*輝いていますか、子どもの瞳 —学習意欲のある子どもを育てるために— *自ら課題をつかみ見通しをもって学ぶ子どもの育成 —支援と評価の工夫— *魅力あるWebページ作り —ニーズにあった内容の充実を図る—

57	2007 平19	<ul style="list-style-type: none"> *より好ましい生活を確立するために －安房の子どもの規範意識の現状を探る－ *自ら学び続ける子どもの育成 追究過程の支援の工夫 *魅力あるWebページ作り －ニーズにあった内容の充実を図る－
58	2008 平20	<ul style="list-style-type: none"> *より好ましい生活を確立するために、 －安房の子どもの規範意識と行動の関係を探る－ *思考力を高める学習指導のあり方 －筋道を立てて考える子どもの育成－ *ホームページ閲覧数のアップを目指した内容の充実 －54年間の研究の再発見と今－
59	2009 平21	<ul style="list-style-type: none"> *より好ましい生活を確立するために －小中の接続をなめらかにするための有効な手立てを探る－ *思考力を高める学習指導のあり方 －「書く」・「話す」活動を通して－ *情報収集の場としての研究所HPの活用の方策を探る
60	2010 平22	<ul style="list-style-type: none"> *携帯電話の適切な利用に向けて －安房と全国の調査結果を比較して－ *思考力を高める学習指導のあり方 －「書く」・「話す」活動を通して－ *PCによるアンケート調査ソフトの活用を探る

あ と が き

来年度から小学校においては新学習指導要領の全面実施、中学校においては移行期間最終年度を迎えます。そのため各学校は、地域や学校の実態及び児童生徒の発達段階と学習・生活両面の特性をしっかりと見据え、直面する教育課題の解決に向けた教育課程編成が求められています。

このような学校教育の変革期においては、自らと教職員集団の現場力の向上を図ることが重要となります。私たちはこれまでの研究の成果をもとに、地域社会との協働により、目標の実現に向けた反省的実践を進めていく必要があります。中でも大きな課題となっている学力向上に向けて最も大切な部分は、授業時数増という量的な面だけでなく、授業の質をいかに高めるかという部分であることは言うまでもありません。子どもたち一人ひとりの豊かな成長に向け、日々努力する教師の姿こそが、信頼される学校づくりの原点といえます。

近年の少子化の影響による教職員の大量退職時代を迎え、県内はもとより安房地域においても新規採用者・講師数が増加しており、安房教育の良き伝統を引き継いでいくための若手の育成が課題となっております。この現状に対して安房教育研究所は、各学校の中核を担う教職員の育成に対して大きな責任を負っているといえます。私たち所員は、各学校での実践に加え、所員研修会での研究実践をとおして所員間のネットワークを構築し、その成果を現場に還元していくことが大切です。そして互いに励まし合い、支え合った仲間と共に、これからの安房教育の発展につなげていかなければなりません。その自覚を持ち、熱く議論をしていくことが期待されております。

さて、本年度も、安房教育研究所は安房地域の今日的教育課題を見据え、調査研究部・教育研修部・情報部に分かれて地域に根差した研究活動を展開してまいりました。今年の研究実践も、所員の旺盛な研究意欲と実践力に支えられたものでした。研修会以外にも幾度となく協議を重ね、まとめ上げるに至っております。このような所員としての使命感、責務を実直に果たそうとする先生方の姿こそが連綿と引き継がれてきた安房教育研究所の伝統ではないかと思えます。おかげをもちまして、2月に行われた安房教育研究所研究発表会、研究所の会には、研究所を支えてくださるOBの先生方はじめ、学校現場からも多数の御参加をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

○終わりに

本年度も、安房教育研究所『研究紀要 第60集』を刊行するはこびとなりました。この研究紀要は研究の視点からいうと、十分とはいえない点が多々見られることと思えます。先生方や各教育関係機関の皆様は、忌憚のない御批正を頂けますようお願い致します。

最後になりましたが、本研究所の活動に対し、多くの方々から温かい御理解と御指導をたまわりました。特に直接御指導をいただきました千葉県教育庁南房総教育事務所主任指導主事 速水一郎先生、鴨川小学校校長 佐生正喜先生、鋸南中学校教頭 田村正雄先生、早稲田大学大学院教授 田中博之先生、そして各教育委員会、校長会、教頭会、千教組安房支部、各教育関係機関の皆様は厚くお礼申し上げます。

(主任主事 遠藤 忠)

平成 22 年度 **研究紀要** 第 60 集

発行日 2011 年 3 月 31 日

発行者 **千葉県安房教育研究所**

責任者 研究所長 **石井昭博**

編集者 主任主事 **遠藤忠**

所在地 〒294-0045

館山市北条 2609-20

安房教育会館内

☎0470-22-0670